

那須塩原市補助金等審査会報告書
《令和元(2019)年度審査結果》

那須塩原市補助金等審査会

令和2(2020)年3月

《 目 次 》

はじめに.....	1
第1章 審査方法及び評価の方法.....	2
1 審査の進め方.....	2
2 評価の方法.....	2
(1) 評価基準.....	2
(2) 評価結果による見直しの方向性.....	3
第2章 審査結果.....	3
1 審査結果.....	3
(1) 審査結果の概要.....	4
(2) 審査結果のまとめ.....	5
令和元(2019)年度那須塩原市補助金等審査会 開催経過報告.....	6
令和元(2019)年度補助金等審査結果一覧.....	7
令和元(2019)年度那須塩原市補助金等審査結果.....	1.1

はじめに

那須塩原市補助金等審査会（以下「審査会」という。）は、市が単独で交付する補助金等（以下「補助金」という。）について、社会情勢や市民ニーズに照らし、適正なものであるかどうかを審査するための市の附属機関として、平成 30(2018)年 10 月に設置された。

当審査会では、平成 30(2018)年度から 3 年間の計画で 213 件・約 14 億円の補助金の審査を行い、個々の補助金の見直しの方向性等について審査を行い、市長に報告していくことになる。

審査初年度の平成 30(2018)年度は、35 件の補助金について審査を行い、その審査結果を当審査会の中間報告として市長に提出した。

2 年目となる令和元(2019)年度は、102 件の補助金を対象とし、全 9 回にわたる審査会を開催し、個々の補助金の見直しの方向性等について審査した。

補助金の見直しに関する最終的な報告は、令和 2(2020)年度を予定しているが、交付される補助金が市民の貴重な税金で賄われていることから、これまでの審査過程における議論、意見等をもとに一定の整理を行い、可能なものから早急に実現されることを期待して、ここに令和元(2019)年度審査結果を報告するものである。

市においては、当審査会の審査結果を踏まえ、補助金が真に市民の福祉の向上、市民との協働によるまちづくりのより一層の進展に大きく寄与されるよう、適正な運用に努めていただきたい。

令和 2(2020)年 3 月 18 日

那須塩原市補助金等審査会

会	長	中 村	祐 司
同職務代理者		根 本	義 夫
委	員	阿久津	一 志
委	員	西 岡	恵理子
委	員	丸 田	浩 之

第1章 審査方法及び評価の方法

1 審査の進め方

当審査会は、交付される補助金の内容等が、社会情勢や市民ニーズに照らし、適正なものであるかどうかの審査を行い、補助金ごとの見直しの方向性を市長に報告することとなる。審査会における審査の進め方は、原則として次のとおり行うこととした。

① 調査票・実績報告等関係資料の提出

事務局から補助金を所管する各課に、補助金等審査調査票、補助金評価シート、実績報告書などの審査に必要となる関係資料の提出を求める。

② 関係資料の事前審査

審査会の開催ごとに、審査対象となる補助金について、所管課から提出された①の関係資料をもとに事前審査を行う。

③ 関係資料の説明・質疑応答・審議（見直しの方向性等）

審査対象となる補助金について、各補助金所管課から説明を受け質疑応答を行う。説明・質疑応答をもとに、委員の合議により個々の補助金の見直しの方向性、審査会意見などを審議する。

④ 審査結果の市長報告

補助金ごとに見直しの4つの方向性にまとめた審査結果を市長に報告する。

2 評価の方法

(1) 評価基準

評価は、①目的公益性・妥当性、②有効性・効率性、③公平性の3つの観点から審査を行う。

① 公益性・妥当性

- ア 市が関与（育成・推進等）すべき事業・活動であるか。
- イ 現在の社会情勢や市民ニーズにあっているかどうか。
- ウ 事業目的は未達成で、今後も補助を継続して行う必要があるか。
- エ 補助の対象範囲は適切であるか。

② 有効性・効率性

- ア 補助金に対して、十分な成果・効果が見込めるか（費用対効果など）。
- イ 市による事業実施と比較して経済合理性、迅速性、専門性等のメリットがあるか。
- ウ 自立的運営や将来的な自走性が見込めるか。

③ 公平性

- ア 他の団体や市民との公平性が保たれているか。

(2) 評価結果による見直しの方向性

審査に当たっては、各委員が補助金の所管課からの関係資料と説明・質疑応答をもとに、委員の合議により、各補助金の見直しの方向性、審査会意見などを附して審査結果とした。

今後の見直しの方向性	
継続すべき	<ul style="list-style-type: none">・継続して補助の必要性が認められる
改善すべき	<ul style="list-style-type: none">・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある・類似目的補助金の整理統合を検討すべきである・補助金ではなく、他費目に組替えるべきである
減額すべき	<ul style="list-style-type: none">・費用対効果が低い・自主財源の確保など自助努力をすべきである・繰越金、余剰金が多い・補助対象とすべきでない経費がある・補助率・補助単価等を下げるべきである
廃止すべき	<ul style="list-style-type: none">・補助目的が達成されている・公益性、公共性、市の政策目的に合致しない・社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が低い・長期にわたる補助で効果が不明確または乏しい・会計処理、補助金の使途が適切でない

第2章 審査結果

1 審査結果

補助金等審査会については、平成 30(2018)年度から 3 年間の計画で補助金の審査を行っている。各年度の審査件数は、平成 30(2018)年度は 35 件、令和元(2019)年度は 102 件、令和 2(2020)年度は 76 件となっている。

審査 2 年目となる令和元(2019)年については、審査対象となる 102 件のうち昨年度までに廃止された補助金、及び令和元年度以降に廃止となる 7 件の補助金については当審査会の審査対象から除外し、95 件の補助金について審査を行った。

なお、当審査会による審査は、貴重な税金で賄われている補助金が、交付基準に基づき、適正に管理、経理がされているかどうか、その使途が本来の目的に沿っているかどうか、そして市民の利益のために効果的であるかどうかなどを、第三者の立場で客観的に判断したものであり、補助金交付団体等の存在意義や活動の内容などを審査・評価したものではないことを、念のため申し添える。

2年目となる令和元(2019)年度分の審査結果を次のとおり報告する。

また、補助金ごとの審査結果及び審査過程における審査会意見などは、「令和元(2019)年度那須塩原市補助金等審査結果」のとおりである。

(1) 審査結果の概要

令和元(2019)年度審査分の補助金 95 件の審査結果は次のとおりである。

■総括

1	令和元(2019)年度審査対象件数	102件	
2	すでに廃止、または廃止される件数	7件	
3	実審査件数	95件	
	審査結果 (見直しの方向性)	① 継続	46件
		② 改善	33件
		③ 減額	4件
		④ 廃止	12件

■補助金の補助区分別審査結果一覧

審査結果 補助区分別	審査結果 (見直しの方向性)				
	継続	改善	減額	廃止	件数
① 個人(政策的)補助	12件	8件	1件	1件	22件
② 団体運営費補助	25件	17件	2件	7件	51件
③ イベント補助		1件			1件
④ 建設事業費補助	2件	1件			3件
⑤ その他事業費補助	7件	6件	1件	4件	18件
合計	46件	33件	4件	12件	95件

■各部局別審査結果一覧

部局別 審査結果	審査結果（見直しの方向性）				
	継 続	改 善	減 額	廃 止	件数
企 画	5件	2件			7件
総 務					
生活環境	11件	1件		3件	15件
保健福祉	6件	10件	1件		17件
子ども未来	3件	2件			5件
産業観光	3件	16件	1件	6件	26件
建 設	4件			1件	5件
教育委員会	14件	2件	2件	2件	20件
支 所					
議会事務局					
合 計	46件	33件	4件	12件	95件

(2) 審査結果のまとめ

審査を行った95件の審査結果・見直しの方向性を見ると、継続すべきとした補助金と改善・減額及び廃止すべきとした補助金の割合は、5：5という結果になった。

しかし、継続すべきとした補助金の中には、補助金の評価・検証を十分に行う必要があるものや、個々の補助金の審査では問題がないと考えられるが、担当課ごとに補助金の交付を行っていることから、関係課との連携が図られておらず、関係課が連携を図ることで統廃合が可能な補助金なども見られた。補助金の交付に当たってはランドデザインを描き、ランドデザインに基づき関係各課が連携を図り補助金の交付を行う必要がある。

当審査会における審査の過程で議論された課題等を、今後の効果的・効率的な行財政運営を推進するための一助として、必要な見直しを検討されたい。

なお、一部委員からは、審査の結果、改善すべきや減額すべきものとした中には、公平性や公益性の観点から直ちに廃止が相当である補助金等が含まれるとの指摘や、別途検討委員会等の組織を立ち上げ、関係者等と一体となって補助金交付団体等の補助対象経費の考え方など、さらに踏み込んだ課題解決を目指すべきであるとの指摘があった。

令和元(2019)年度那須塩原市補助金等審査会 開催経過報告

令和元(2019)年

- 5月31日 ○第1回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第1回審査分の補助金11事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 6月28日 ○第2回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第2回審査分の補助金13事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 7月 5日 ○第3回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第3回審査分の補助金11事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 7月24日 ○第4回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第4回審査分の補助金11事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 8月 6日 ○第5回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第5回審査分の補助金10事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 8月21日 ○第6回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第6回審査分の補助金11事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 10月 2日 ○第7回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第7回審査分の補助金11事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 10月25日 ○第8回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第8回審査分の補助金7事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議
- 11月 5日 ○第9回那須塩原市補助金等審査会 開催
・第9回審査分の補助金10事業の概要・関係資料の説明、質疑応答
・委員合議により、見直しの方向性及び審査会意見の審議

令和2(2020)年

- 2月13日 ○那須塩原市補助金等審査会報告書<<令和元(2019)年度審査結果>>(素案)の確認・決定

令和元(2019)年度補助金等審査結果一覧

(単位：円)

No.	審査会	所属	補助金・交付金の名称	補助区分	令和元(2019)年度予算額	見直しの方向性	備考
1	1回目	社会福祉課	大田原人権擁護委員協議会那須塩原部会支部補助金	②団体運営費補助	192,000	継続すべき	
2		社会福祉課	民生委員児童委員協議会連合会補助金	②団体運営費補助	5,200,000	継続すべき	
3		社会福祉課	更生保護女性会運営費補助金	②団体運営費補助	20,000	継続すべき	
4		社会福祉課	身体障害者福祉会補助金	②団体運営費補助	418,000	改善すべき	
5		社会福祉課	心身障害児(者)父母の会運営費補助金	②団体運営費補助	178,000	改善すべき	
6		社会福祉課	心身障害児(者)父母の会療育訓練事業補助金	③イベント補助	200,000	改善すべき	
7		社会福祉課	心身障害児(者)民間療育施設運営補助金	②団体運営費補助	1,728,000	改善すべき	
8		社会福祉課	心身障害児(者)民間療育施設通所児(者)保護者補助金	①個人補助	1,728,000	改善すべき	
9		社会福祉課	NPO法人講演会補助金	③イベント補助	0		R1年度から負担金
10		高齢福祉課	敬老会運営補助金	②団体運営費補助	18,216,000	継続すべき	
11		高齢福祉課	老人クラブ連合会補助金	②団体運営費補助	2,932,000	継続すべき	
12		高齢福祉課	生きがいサロン推進事業費補助金	②団体運営費補助	23,509,000	減額すべき	
13	2回目	市民協働推進課	自治会長連絡協議会補助金	②団体運営費補助	500,000	改善すべき	
14		市民協働推進課	自治振興費補助金	②団体運営費補助	11,790,000	改善すべき	
15		市民協働推進課	コミュニティ設立準備会補助金	②団体運営費補助	200,000	継続すべき	
16		市民協働推進課	協働のまちづくり推進協議会運営交付金	②団体運営費補助	0		H30年度末廃止
17		市民協働推進課	市民提案型協働のまちづくり支援事業補助金	⑤その他	5,000,000	継続すべき	
18		市民協働推進課	地域婦人会連絡協議会運営費補助金	②団体運営費補助	325,400	継続すべき	
19		市民協働推進課	男女共同参画を推進する団体の連絡協議会運営費補助金	②団体運営費補助	54,000	継続すべき	
20		市民協働推進課	統計調査推進協議会補助金	②団体運営費補助	135,000	継続すべき	
21		農務畜産課	農業農村活性化塾活動費補助金	②団体運営費補助	0		H30年度末廃止
22		農務畜産課	新規就農教育研修事業費補助金	②団体運営費補助	654,000	廃止すべき	
23		農務畜産課	那須塩原市農業公社支援交付金	②団体運営費補助	46,173,000	改善すべき	
24		農務畜産課	農村生活研究グループ協議会活動支援事業費補助金	②団体運営費補助	90,000	継続すべき	
25	農務畜産課	農業指導士会活動費補助金	②団体運営費補助	360,000	廃止すべき		
26	農務畜産課	塩原漁業協同組合補助金	②団体運営費補助	120,000	改善すべき		
27	農務畜産課	家畜自衛防疫推進事業費補助金	②団体運営費補助	5,390,000	改善すべき		
28	3回目	廃棄物対策課	那須疏水路清掃費助成金	⑤その他	0		R1年度からNo. 54に統合
29		廃棄物対策課	那須疏水土地改良区助成金	⑤その他	0		R1年度から補償金
30		廃棄物対策課	環境保全事業補助金	②団体運営費補助	1,080,000	廃止すべき	

No.	審査会	所属	補助金・交付金の名称	補助区分	令和元(2019)年度予算額	見直しの方向性	備考
31	3回目	廃棄物対策課	集団資源回収事業交付金	①個人補助	7,200,000	継続すべき	
32		廃棄物対策課	生ごみ処理容器及び機械式生ごみ処理機設置費補助金	①個人補助	1,180,000	継続すべき	
33		生活課	パンピクラブ連合会運営費補助金	②団体運営費補助	76,000	継続すべき	
34		生活課	自主防犯活動支援補助金	①個人補助	500,000	継続すべき	
35		生活課	防犯灯電気料補助金	⑤その他	7,641,600	継続すべき	
36		生活課	防犯灯設置費補助金	④建設事業費補助	5,650,000	継続すべき	
37		生活課	消費生活推進連絡会運営費補助金	②団体運営費補助	40,000	継続すべき	
38		生活課	生活学校運営費補助金	②団体運営費補助	23,000	継続すべき	
39		保育課	私設保育所運営費補助金	②団体運営費補助	1,063,000	改善すべき	
40		保育課	放課後児童健全育成事業費補助金	②団体運営費補助	755,000	改善すべき	
41	4回目	生活課	運転免許証自主返納者支援事業	①個人補助	3,120,000	改善すべき	
42		生活課	ユニバーサルデザインタクシー整備事業費補助金	⑤その他	900,000	継続すべき	
43		健康増進課	地域医療等協力交付金	⑤その他	980,000	改善すべき	医師会
44		健康増進課	地域医療等協力交付金	⑤その他	260,000	改善すべき	歯科医師会
45		健康増進課	地域医療等協力交付金	⑤その他	1,000,000	改善すべき	塩原温泉病院
46		健康増進課	公的病院等支援補助金	②団体運営費補助	103,040,000	継続すべき	
47		健康増進課	骨髄移植ドナー支援事業奨励金	①個人補助	630,000		市単独補助金ではないため審査対象外
48		健康増進課	健康増進事業等推進協力交付金	⑤その他	451,000	改善すべき	医師会
49		健康増進課	健康増進事業等推進協力交付金	⑤その他	80,000	改善すべき	歯科医師会
50		子育て支援課	子育て応援券事業	①個人補助	25,100,000	継続すべき	
51	子育て支援課	保育園及び認定こども園施設整備費貸付金利子補給金	④建設事業費補助	3,985,000	継続すべき		
52	子育て支援課	女性保護団体運営費補助金	②団体運営費補助	300,000	継続すべき		
53	5回目	農林整備課	黒磯土地改良区運営費補助金	②団体運営費補助	5,526,000	改善すべき	
54		農林整備課	那須疏水土地改良区運営費補助金	②団体運営費補助	20,931,000	改善すべき	
55		農林整備課	西那須野東部土地改良区運営費補助金	②団体運営費補助	794,000	改善すべき	
56		農林整備課	塩原土地改良区運営費補助金	②団体運営費補助	4,171,000	改善すべき	
57		農林整備課	ほ場整備事業運営費補助金	②団体運営費補助	80,000	廃止すべき	
58		農林整備課	塩原林業振興会事業費補助金	②団体運営費補助	90,000	改善すべき	
59		農林整備課	那須塩原市森林組合育成補助金	②団体運営費補助	389,000	改善すべき	
60		農林整備課	林業振興事業費補助金	②団体運営費補助	802,000	廃止すべき	
61		農林整備課	有害鳥獣捕獲対策事業費補助金	①個人補助	6,000,000	改善すべき	

No.	審査会	所属	補助金・交付金の名称	補助区分	令和元(2019)年度予算額	見直しの方向性	備考
62	5回目	農林整備課	林道愛護会補助金	②団体運営費補助	121,000	継続すべき	
63	6回目	生涯学習課	P T A 連絡協議会補助金	②団体運営費補助	50,000	継続すべき	
64		生涯学習課	コミュニティ運営費補助金	②団体運営費補助	2,479,000	改善すべき	
65		生涯学習課	自治公民館施設整備費等補助金	④建設事業費補助	6,430,000	改善すべき	
66		生涯学習課	郷土芸能保存団体活動費補助金	②団体運営費補助	507,000	継続すべき	
67		生涯学習課	文化協会運営費補助金	②団体運営費補助	1,350,000	継続すべき	
68		生涯学習課	文化財保存事業費補助金	②団体運営費補助	405,000	継続すべき	
69		生涯学習課	黒磯文化会館自主事業運営費補助金	②団体運営費補助	10,000,000	廃止すべき	
70		生涯学習課	公益財団法人那須塩原市文化振興公社運営費補助金	②団体運営費補助	38,127,000	減額すべき	
71		生涯学習課	少年指導員会補助金	②団体運営費補助	48,000	継続すべき	
72		生涯学習課	子ども会育成会連絡協議会補助金	②団体運営費補助	524,000	継続すべき	
73		生涯学習課	ボーイスカウト・ガールスカウト補助金	②団体運営費補助	100,000	継続すべき	
74	7回目	都市整備課	黒磯本通り周辺街なみ協議会補助金	②団体運営費補助	500,000	廃止すべき	
75		都市整備課	空き家バンク利用契約媒介手数料補助金	①個人補助	500,000	継続すべき	
76		教育総務課	奨学資金の給付金	①個人補助	1,600,000	継続すべき	
77		教育総務課	地域児童見守りシステム助成金	①個人補助	22,000		R2年度末廃止
78		生涯学習課	くろいそオペラ支援事業補助金	⑤その他	3,200,000	廃止すべき	
79		生涯学習課	那須野の大地支援事業補助金	⑤その他	4,550,000	減額すべき	
80		生涯学習課	子ども芸能発表会運営費補助金	⑤その他	300,000	継続すべき	
81		生涯学習課	洋上北海道学習運営費補助金	⑤その他	4,000,000	継続すべき	
82		生涯学習課	姉妹都市交流事業ちびっこふるさと探検隊運営費補助金	⑤その他	0	継続すべき	R1年度予算措置なし
83		スポーツ振興課	小中学生社会体育活動支援補助金	⑤その他	1,000,000	継続すべき	
84		スポーツ振興課	プロフェッショナルスポーツ団体補助金	②団体運営費補助	1,000,000	継続すべき	
85	スポーツ振興課	体育協会運営費補助金	②団体運営費補助	24,740,000	継続すべき		
86	8回目	環境課	火葬場使用料助成事業	①個人補助	120,000	継続すべき	
87		環境課	犬猫の避妊・去勢手術費助成金	①個人補助	1,500,000	継続すべき	
88		環境課	希少野生動物種保護対策事業交付金	⑤その他	300,000	廃止すべき	
89		環境課	電気自動車購入費補助金	①個人補助	10,000,000	廃止すべき	
90		道路課	道路愛護会補助金	①個人補助	1,110,000	継続すべき	
91		道路課	河川愛護会補助金	①個人補助	345,000	継続すべき	
92		建築指導課	狭あい道路整備事業補助金	①個人補助	500,000	継続すべき	

(単位：円)

No.	審査会	所属	補助金・交付金の名称	補助区分	令和元(2019)年度予算額	見直しの方向性	備考
93	9回目	農務畜産課	黒磯地区病害虫防除対策事業費補助金	①個人補助	2,612,000	改善すべき	
94		農務畜産課	塩那地区農作物病害虫防除対策事業費補助金	①個人補助	6,748,000	改善すべき	
95		農務畜産課	野菜畑土壌消毒事業費補助金	①個人補助	3,478,000	減額すべき	
96		農務畜産課	那須塩原市農業公社チャレンジファーマー制度推進事業交付金	①個人補助	2,663,000	改善すべき	
97		農務畜産課	乳用牛群改良促進事業費補助金	①個人補助	1,010,000	継続すべき	
98		農務畜産課	和牛優良雌牛導入支援事業費補助金	①個人補助	6,000,000	改善すべき	
99		農務畜産課	乳用牛優良雌牛導入支援事業費補助金	①個人補助	4,000,000	改善すべき	
100		農務畜産課	那須和牛宣伝事業費補助金	⑤その他	200,000	廃止すべき	
101		農務畜産課	畜産振興事業費補助金	⑤その他	570,000	廃止すべき	ミルクスタンド
102		農務畜産課	生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金	⑤その他	300,000	改善すべき	
合計					471,959,000		



廃止等により審査対象外

令和元(2019)年度那須塩原市補助金等審査結果

補助金名称	1 大田原人権擁護委員協議会那須塩原部会支部補助金
担当課	社会福祉課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>人権擁護委員の活動として、相談窓口を設けることは重要であり、補助金は必要であると考え。しかしながら、相談件数が少なく、有効に活用できていないのではないかと。開催の方法やPR方法を検討し今後の活動につなげていただきたい。</p> <p>また、補助金申請に関する資料について、国の活動についても記載されており、市の補助事業がわかりにくいものとなっている。補助金を適切に交付するためにも、補助対象事業がわかる資料を求める必要がある。</p>

補助金名称	2 民生委員児童委員連絡協議会連合会補助金
担当課	社会福祉課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>明確な成果の把握が困難である補助金ではあるが、相談件数を用いるなどして補助金を評価することも必要となるのではないかと。</p>

補助金名称	3 更生保護女性会運営費補助金
担当課	社会福祉課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>少額補助金ではあるが、補助金があることにより会の運営が成り立っていることから、補助を継続すべきである。</p>

補助金名称	4 身体障害者福社会補助金 5 心身障害児(者)父母の会運営費補助金 6 心身障害児(者)父母の会療育訓練事業補助金
担当課	社会福祉課
見直しの方向性	<p>改善すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類似目的補助金の整理統合を検討すべきである
審査会意見	<p>類似団体に、類似目的で別々に補助を行っていることから、補助の目的や事業内容を整理し、一部の市民のための補助金とならないよう、事業内容や経費を評価し、補助金の整理・統合を検討する必要がある。</p> <p>併せて、社会福祉に関する行政・社会福祉協議会・団体の役割を明確にし、補助事業の住み分けを行う必要がある。</p> <p>また、会員数の減少などの課題があり、会員数の確保のために行政が関わりを持ち、支援する必要があるのではないかと。</p>

補助金名称	7 心身障害児（者）民間療育施設運営補助金 8 心身障害児（者）民間療育施設通所児（者）保護者補助金
担当課	社会福祉課
見直しの方向性	改善すべき ・類似目的補助金の整理統合を検討すべきである
審査会意見	類似目的で施設と保護者に補助を行っている。しかし、現在の補助金の算定方法では、施設に通所している市外の利用者にも間接的に補助を行っていることになってしまう。 法定外サービスとなっている施設への通所者に対し、法定サービス利用者との公平性を図るために補助を行うというのであれば、補助事業を精査し、補助金の整理統合を行うべきである。

補助金名称	10 敬老会運営補助金
担当課	高齢福祉課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	補助対象年齢の引き上げを行っている途中であり、経過措置終了後の状況を勘案し、補助事業の検証を行う必要があるのではないかと。 また、自治会により出席率に差があることや自治会未加入者の参加方法、敬老会に出席するための交通手段の確保など、課題について検討する必要がある。

補助金名称	11 老人クラブ連合会補助金
担当課	高齢福祉課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	老人クラブについてはある程度の歴史があり、広い地域をカバーできており継続すべきである。

補助金名称	12 生きがいサロン推進事業費補助金
担当課	高齢福祉課
見直しの方向性	減額すべき <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある ・補助対象とすべきでない経費がある ・生きがいサロンの設置について、明確な将来ビジョンを設定すべきである
審査会意見	<p>高齢化が進む中で、介護予防の推進を図る必要はあるが、生きがいサロンの設置について、すべての地域をカバーするためにはどの程度の数が必要なのか明確な将来ビジョンがない。そのため、一つの地区に複数あるところもあれば、設置されていない地区もある。これから、市内全域での実施を考えたときに、明確な将来ビジョンを設定し、将来ビジョンに基づき設置する必要がある。そのためには、社会福祉協議会を通して、大きな形で進めていくなどの方法も検討すべきである。</p> <p>補助対象経費に占める食糧費の割合が高くなっている。イベント等の事業に対しての食糧費は必要になることも考えられるが、通常のおやつ代等に対し補助金を充てるべきではない。また、補助対象経費に設備の改修が含まれているが、自治公民館等の改修については自治公民館の改修に係る補助金があるため、この補助金の対象経費からは、外すべきである。</p>

補助金名称	13 自治会長連絡協議会補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	改善すべき <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	<p>毎年同じことを実施するのではなく、自治会加入率向上のために実施した施策を分析し、状況を把握した上で、自治会加入率向上に向けた新しい方策を打ち出すべきである。</p>

補助金名称	14 自治振興費補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	改善すべき <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	<p>自治会の在り方自体が、時代にそぐわなくなっている。自治会やコミュニティに関するビジョンを描き、自治会の在り方自体を見直すべきである。</p>

補助金名称	15 コミュニティ設立準備会補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	市民協働推進に係るグランドデザインをきちんと描くべきである。そして、グランドデザインをもとに補助金の交付等を行うべきである。

補助金名称	17 市民提案型協働のまちづくり支援事業補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	補助金を3年間交付することで、補助金終了後の事業継続につながることは理解できる。しかしながら、1年間の事業が終了した時点で、事業内容を厳格に精査し、費用対効果等を検証した上で、補助を継続するかどうかの判断をすべきである。 また、特定の団体に偏ることなく、広く補助金の執行をしていただきたい。

補助金名称	18 地域婦人会連絡協議会運営費補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	活発に活動しており、補助金は継続すべきと考えるが、実績報告等に各地区への配分金について用途の記載がない状況である。各地区への配分金の用途を十分確認の上、補助を実施していただきたい。

補助金名称	19 男女共同参画を推進する団体の連絡協議会運営費補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	補助金については継続すべきと考えるが、決算報告に集団資源回収に係る交付金が含まれていない。団体としての決算書になるため、収支についてはすべて記載するように指導し、全体の収支を精査した上で、補助金の交付を行うべきである。

補助金名称	20 統計調査推進協議会補助金
担当課	市民協働推進課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	統計調査員の確保や資質の向上のため、今後も継続して補助金の必要がある。

補助金名称	22 新規就農教育研修事業補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	廃止すべき ・農業公社が実施すべき事業である
審査会意見	<p>営利企業に対して、積算根拠が明確でない中、十分な精査を行うことなく補助金を交付している。営利を目的としている株式会社に対して、補助金を交付すべきではない。</p> <p>担い手を増やしていこうという事業については、農業公社の目的にも合致している。現在、農業公社ではチャレンジファーマー事業を行っており、担い手確保のための新規就農事業を実施するのであれば、農業公社の事業として実施すべきである。</p>

補助金名称	23 那須塩原市農業公社支援交付金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	<p>人件費の補助を行っており、人件費については共通の人事管理・給与表を作成し、作成した給与表を上限として、補助金の積算をすべきである。</p> <p>また、運営に係る経費を10割補助している中で、余剰金が増加することはあってはならない。収益事業を行っており、余剰金が出るのであれば、余剰金は運営に係る経費にまず充当すべきである。</p>

補助金名称	24 農村生活研究グループ協議会活動支援事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	継続すべき

補助金名称	25 農業指導士会活動費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	廃止すべき ・社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が低い
審査会意見	<p>特定の人の研修のために補助金を出しているのではないか。地域のリーダーとして、農業指導士の資質保持のため補助金を交付するという目的に対し、活動の事業計画が何も上がっておらず、具体的に何を行っているか見えてこない。</p> <p>また、農業公社でも同様の研修事業を行っており、必要性が低いことから、廃止すべきである。</p>

補助金名称	26 塩原漁業協同組合補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	継続して補助の必要性はあるが、補助金の使途が明確になっていない。補助金の使途について明確にすべきある。 塩原漁業協同組合に補助金を交付することで、塩原の振興につなげてほしい。

補助金名称	27 家畜自衛防疫推進事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	担当課で実施しているワクチンの種類や見直しの検討を速やかに実施し、費用対効果の観点から改善を進めてほしい。

補助金名称	30 環境保全事業補助金
担当課	廃棄物対策課
見直しの方向性	廃止すべき ・長期にわたる補助で効果が不明確又は乏しい
審査会意見	補助金で事業を実施しているにも関わらず、事業の実施状況や補助金の使途を十分に精査することなく補助金を執行している。また、本来禁止することのできない産業廃棄物施設の設置数を、0にするという団体に対し、市として補助を出すのはどうなのか。 長期にわたり補助することで、目的・効果が十分に検証されないまま、固定化している。環境保全を目的として補助を実施するということであれば、補助金を廃止にして、一度白紙にする必要があるのではないか。

補助金名称	31 集団資源回収事業交付金
担当課	廃棄物対策課
見直しの方向性	継続すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	各団体に対し資源物の売払い収入があるにも関わらず、さらに行政が二重で補助を出す必要があるのか。ごみ減量化のために補助を行うことは必要と考えるが、補助対象経費や補助の方法等を十分に検討し改善を進めていただきたい。

補助金名称	32 生ごみ処理容器及び機械式生ごみ処理機設置費補助金
担当課	廃棄物対策課
見直しの方向性	継続すべき ・機械式生ごみ処理機の普及に努めるべきである
審査会意見	ごみ処理施設の負荷を軽減するためにも、機械式生ごみ処理機の普及に向け、努力していただきたい。 また、機械式生ごみ処理機の一括購入等を検討し、補助単価を下げる等の検討を行っていただきたい。

補助金名称	33 バンビクラブ連合会運営費補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	市内すべての保育園や幼稚園が参加していないため、すべての園に参加していただき、園児に特化した交通安全対策を実施していただきたい。

補助金名称	34 自主防犯活動支援補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	補助金を交付した団体の活動をきちんと把握し、活動を休止している団体については、不要になった物品等を市で一括管理し、物品を必要としている団体に交付するなど、柔軟な対応を行う必要があるのではないか。 また、物品の購入にあたっては、市内業者一覧等を作成し、団体を支援することも必要ではないか。

補助金名称	35 防犯灯電気料補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	自治会加入率が低下しているなかで、電気料に対する自治会の負担も大きなものになってくる。LED化を進めていただきたい。併せて、LEDに交換したことにより、電気料がどう推移したのか把握し、今後の事業実施のために検証を行っていただきたい。

補助金名称	36 防犯灯設置費補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	市内の防犯灯の必要箇所について、市で把握しアドバイスをすることは難しいが、必要箇所に適切に防犯灯が設置されるよう、事業を推進していただきたい。

補助金名称	37 消費生活推進連絡会運営費補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>連絡会を設置することにより、一つの団体では実施することができない事業を実施することができる。横のつながりができることから、連絡会は必要なものであると考える。</p> <p>また、消費者だよりの作成など消費生活に関する情報を得ることができ、補助金額は少額であるが継続すべきである。</p>

補助金名称	38 生活学校運営費補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>金額は少額ではあるが、着実に事業を実施しているということが重要である。</p> <p>また、いろいろな地域で、積極的に活動を実施すれば、中核になる良い団体になるのではないかと。積極的に活動していただき、もっと波及させていきたい。</p>

補助金名称	39 施設保育所運営費補助金
担当課	保育課
見直しの方向性	<p>改善すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の無償化に対応するように、改善すべきである
審査会意見	<p>これまで、補助金額の見直しを行っておらず、保育の無償化に対応するように、補助金額の見直しを行うべきである。</p> <p>また、無償化を踏まえた上で、補助金のあり方を検討すべきである。</p>

補助金名称	40 放課後児童健全育成事業費補助金
担当課	保育課
見直しの方向性	<p>改善すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	<p>放課後児童クラブの運営補助に関しては、国や県の補助が入っており、補助基準以外の部分を横出しして補助を行っている。補助基準以上の部分を補助するのであれば、公設・民設の差を埋めるため等のきちんとした理由がなければならない。</p> <p>また、事業者に余剰金が発生しており、余剰金が適正な範囲になっているか、精査を行う必要がある。</p>

補助金名称	4 1 運転免許証自主返納者支援事業
担当課	生活課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	ゆーバスの活用も含めた交付方法の検討や自動ブレーキ設置に対する補助の検討など、多面的に交通事故の減少に向けた方法を検討すべきである。

補助金名称	4 2 ユニバーサルデザインタクシー整備事業費補助金
担当課	生活課
見直しの方向性	継続すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	利用者の状況やユニバーサルデザインタクシーの整備状況を把握し、どれだけ必要か検討を行う必要がある。3年という終期が決まっている補助金ではあるが、国の施策だから実施するのではなく、市の理念をもって実施すべきである。

補助金名称	4 3 地域医療等協力交付金（医師会） 4 4 地域医療等協力交付金（歯科医師会）
担当課	健康増進課
見直しの方向性	改善すべき ・地域医療を推進するため、関係機関を集めた連絡協議会を設置すべきである
審査会意見	地域医療を進めるため、指導・助言・提言を得るということであれば、団体に交付するのではなく、関係各課や医師会、歯科医師会を集め、横のつながりのある連絡協議会を設置し、連絡協議会に対して、目的や用途を明確にした補助金を交付すべきである。

補助金名称	4 5 地域医療等協力交付金（塩原温泉病院）
担当課	健康増進課
見直しの方向性	改善すべき ・地域医療を推進するため、関係機関を集めた連絡協議会を設置すべきである
審査会意見	関係各課や医師会、歯科医師会を集め、横のつながりのある連絡協議会を設置し、連絡協議会に対して、目的や用途を明確にした補助金を交付すべきである。 塩原温泉病院の今後の方向性を確認し、協議会において今後の補助金のあり方を検討する必要があるのではないか。

補助金名称	46 公的病院等支援補助金
担当課	健康増進課
見直しの方向性	継続すべき ・費用対効果の検証を行うべきである
審査会意見	補助金額を特別交付税の基準額にあわせるのではなく、単価を決め、利用状況に応じ金額を決める必要があるのではないか。また、利用状況等を確認し、費用対効果の検証を行い、補助対象事業の精査を行うべきである。

補助金名称	48 健康増進等推進協力交付金（医師会） 49 健康増進等推進協力交付金（歯科医師会）
担当課	健康増進課
見直しの方向性	改善すべき ・地域医療を推進するため、関係機関を集めた連絡協議会を設置すべきである
審査会意見	地域医療を進めるため、指導・助言・提言を得るということであれば、団体に交付するのではなく、関係各課や医師会、歯科医師会を集め、横のつながりのある連絡協議会を設置し、連絡協議会に対して、目的や用途を明確にした補助金を交付すべきである。 また、県と折半と決まっているところではあるが、必要かどうかの検討を加える必要があるのではないか。

補助金名称	50 子育て応援券事業
担当課	子育て支援課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	補助メニューの検討や取扱事業者の増加など、利用者の利便性の高いものとしていただきたい。また、那須塩原市独自の事業ということであれば、PRをきちんと行っていただき、子育て世代の移住につなげていただきたい。

補助金名称	51 保育園及び認定こども園施設整備費貸与金利子補給金
担当課	子育て支援課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	保育園整備計画に基づき、補助を行っていただきたい。

補助金名称	52 女性保護団体運営費補助金
担当課	子育て支援課
見直しの方向性	継続すべき ・補助金額の根拠を明確にすべきである
審査会意見	補助金の根拠が明確になっておらず、また、補助の効果も把握できていない。補助金は継続すべきであると考えが、市が補助する以上、補助金の根拠を明確にし、補助の効果を把握しなければならない。

補助金名称	53 黒磯土地改良区運営費補助金 54 那須疏水土地改良区運営費補助金 55 西那須野東部土地改良区運営費補助金 56 塩原土地改良区運営費補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	改善すべき ・類似目的補助金の整理統合を検討すべきである ・算出根拠を明確にすべきである
審査会意見	土地改良区ごとに補助割合が異なっており、算出根拠が不明確なまま補助金を交付している。補助金を交付するのであれば、補助金の算出根拠を明確にすべきである。 また、各団体への補助金の整理統合の検討を行い、可能なものから統合し、合理化を図っていただきたい。

補助金名称	57 ほ場整備事業運営費補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	廃止すべき ・ほ場整備後に所属する土地改良区において、実施すべき事業である
審査会意見	黒磯土地改良区の事業として行うべきである。今後、ほ場整備を行う場合には、ほ場整備に対して補助を行うのではなく、既存の土地改良区の事業として実施すべきである。

補助金名称	58 塩原林業振興会事業費補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	改善すべき ・たかはら森林組合の事業として実施すべきである
審査会意見	塩原林業振興会に対して補助を行うのではなく、たかはら森林組合の事業として実施すべきである。

補助金名称	59 森林組合育成補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	改善すべき ・補助金が有効に使われるように、補助金の使途について見直すべきである
審査会意見	費用対効果の観点から、補助金が有効に使われているか確認し、補助金が有効に使われるよう指導するべきである。

補助金名称	60 林業振興事業費補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	廃止すべき ・目的が達成されている
審査会意見	今年度が補助最終年度であり、補助の目的も達成されているため廃止すべきである。

補助金名称	61 有害鳥獣捕獲対策事業費補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	有害鳥獣対策を推進するにあたり、市民からの申請を待って事業を行うのではなく、市が主導となって、必要な地域で有害鳥獣対策が実施できるように補助内容を検討し、事業を実施する必要がある。

補助金名称	62 林道愛護会補助金
担当課	農林整備課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	高齢化等の問題があり、愛護会の活動が難しくなっているが、市が会の活動を支援していくことは必要であると考えます。

補助金名称	63 PTA連絡協議会補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき

補助金名称	64 コミュニティ運営費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	<p>コミュニティがある地区とない地区で、公平性に欠けるのではないか。また、コミュニティが増えたときに、現在と同じように補助を行うことができるのか検討する必要がある。</p> <p>コミュニティや自治会に係るランドデザインをきちんと描き、ランドデザインをもとに補助金の交付等を行うべきである。</p>

補助金名称	65 自治公民館施設整備費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	改善すべき ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある
審査会意見	<p>自治会加入率が低下している状況で、今後も自治公民館を維持していくことが可能なのか、地域の実情を考慮し、公設公民館と自治公民館の将来の在り方を根本から考える必要がある。</p>

補助金名称	66 郷土芸能保存団体活動費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき ・団体ごとの補助金額は一律にすべきである
審査会意見	<p>一律の補助金としていながら、金額が一律になっていないことが問題である。補助金額については一律にして、特殊事情があるのであれば、必要に応じて個別に対応するべきである。</p> <p>また、団体の活動状況を把握し、積極的に発表する場を市が作る必要がある。</p>

補助金名称	67 文化協会運営費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>市が事務局となっており、積極的に発表の場を作っていただきたい。</p>

補助金名称	68 文化財保存事業費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>活動に対する補助金については一律になっており、用具の更新や有形文化財の修繕が必要になったときには個別に対応できる制度となっており継続すべきである。</p> <p>また、団体の活動状況を把握し、積極的に発表する場を市が作る必要がある。</p>

補助金名称	69 黒磯文化会館自主事業費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	<p>廃止すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期のわたる補助で効果が不明確または乏しい ・自主事業については、採算がとれるように計画をたてて実施すべきである
審査会意見	<p>自主事業については、採算がとれるように事業計画をたてなければいけない。最終的に補助金で赤字補填されるということであれば、文化振興公社が自助努力をしなくなってしまうのではないか。イベント実施にあたり、事前に資金が必要ということであれば、補助金ではなく貸付金にするなどの検討を加える必要がある。</p>

補助金名称	70 公益財団法人那須塩原市文化振興公社運営費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	<p>減額すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が低い
審査会意見	<p>人件費の補助を行っており、人件費については共通の人事管理・給与表を作成し、作成した給与表を上限として、補助金の積算をすべきである。</p> <p>また、自主事業の補助金を廃止した場合に、運営費補助で自主事業分の赤字補填を行うことのない様に補助金の支出をする必要がある。</p>

補助金名称	71 少年指導会補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき

補助金名称	72 子ども育成会連絡協議会補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき

補助金名称	73 ボーイスカウト・ガールスカウト補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき

補助金名称	74 黒磯本通り街なみ協議会補助金
担当課	都市整備課
見直しの方向性	廃止すべき ・目的が達成されている
審査会意見	特定の地域に限定した補助金であり、公平性の観点から問題があるのではないか。 既に、補助金の目的は達成されており、補助金は廃止すべきである。

補助金名称	75 空き家バンク利用媒介手数料補助金
担当課	都市整備課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	空き家バンクの活用を考えている方に対し必要な情報が届くように、PR方法を検討して事業を実施していただきたい。

補助金名称	76 奨学資金の給付金
担当課	教育総務課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	奨学金制度について、貸与型と給付型をセットで考え、より良いものとなるよう検討していただきたい。また、PR方法を検討し実施していただきたい。

補助金名称	78 くろいそオペラ支援事業補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	廃止すべき ・長期にわたる補助で効果が不明確または乏しい ・補助金額が多額すぎる
審査会意見	市民によるオペラのための補助であるが、人件費や設営費が事業費の大半を占めており多額すぎる。補助を開始して10年以上続いており、補助の効果が不明確となっている。費用対効果の観点から、他の事業の検討を行うべきである。 一度創設されると、十分な精査が行われぬまま補助が継続してしまう。補助金に終期を設ける必要がある。

補助金名称	79 那須野の大地支援事業補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	減額すべき ・自主財源の確保など自助努力をすべきである
審査会意見	<p>開拓の歴史を、後世に伝えていきたいということは理解できるが、補助金に占める委託料の割合が高すぎる。市民の手作りの公演としていただきたい。この公演であれば、チケットが有料であっても観客動員は見込めるのではないか。安定的な公演に向け、自主財源の確保に努めるべきである。</p> <p>また、舞台装置のサイズ等の課題はあるが、公演の内容や公演を行う会場についても検討していただきたい。</p> <p>あわせて、市は、観客動員数が下がらないよう、積極的に周知等を行いバックアップする必要がある。</p>

補助金名称	80 子ども芸能発表会運営費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>補助金に占める音響照明に関する委託料の割合が高く、開催する会場について、黒磯文化会館にするなど検討していただきたい。</p> <p>また、郷土芸能には近隣市町と関連の深い芸能もあり、近隣市町と連携した発表会の開催も検討していただきたい。</p>

補助金名称	81 洋上北海道学習運営費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>個人負担が高額であり、経済的な理由で参加できない人もいるのではないか。参加者が偏ることのないよう、開催方法等を検討していただきたい。</p>

補助金名称	82 姉妹都市交流事業ちびっこふるさと探検隊運営費補助金
担当課	生涯学習課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>姉妹都市との交流を図ることは良いことである。相手方の都合で交流会を開催できないのであれば、交流先を変更するなど検討すべきである。</p>

補助金名称	83 小中学生社会体育活動支援補助金
担当課	スポーツ振興課
見直しの方向性	継続すべき ・交通費について、全額補助すべきである
審査会意見	部活動に係る遠征費について全額補助を行っているのであれば、社会体育活動についても、交通費については全額補助とすべきである。 また、体育協会に所属しているものについては、体育協会からの補助とすることはできないのか、検討していただきたい。

補助金名称	84 プロフェッショナルスポーツ団体補助金
担当課	スポーツ振興課
見直しの方向性	継続すべき ・2市1町間の協議を含め補助金額の在り方について再検討すべきである
審査会意見	補助金額の算出根拠があいまいではないのか。ホームタウンとしている2市1町で、補助金の在り方について検討する必要があるのではないかと。 また、補助金を開始するときに、何をもって補助目的が達成されたとするのか、終期や見直しの時期について設定する必要があるのではないかと。

補助金名称	85 体育協会運営費補助金
担当課	スポーツ振興課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	体育協会の運営に係る経費をすべて補助しており、適切な支出となっているか領収書等を確認する必要がある。また、適切に監査を行う必要がある。 当市の補助の特色としてスポーツ少年団に多額の補助をし、小中学校の教諭の部活動の過重な負担を軽減しようという目的もあるということであれば、その目的が達成されているかどうか検証を加えるべきではないかと。

補助金名称	86 火葬場使用料助成事業
担当課	環境課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	火葬場の使用料金や負担方法について、担当課で問題意識を持っていることから、できるだけ早く大田原市と協議を行い検討していただきたい。

補助金名称	87 犬猫の避妊・去勢手術費助成金
担当課	環境課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>平成30年度からの補助金であり、3年から5年を目安に補助金の効果を多面的に評価・検証していただきたい。</p> <p>あわせて、補助金の交付目的の達成のため、補助金の評価・検証を踏まえ、愛護団体への補助など補助方法の検討を行っていただきたい。</p>

補助金名称	88 希少野生動植物種保護対策事業交付金
担当課	環境課
見直しの方向性	廃止すべき
審査会意見	<p>別の補助金があり、何年も申請がないのに予算だけ要求しておくのはおかしいのではないかと。申請がないのであれば補助金は廃止すべきである。新規団体の認定を行うなど、補助が必要になったときに予算要求し、補助を行うようにしていただきたい。</p>

補助金名称	89 電気自動車購入費補助金
担当課	環境課
見直しの方向性	<p>廃止すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたる補助ではないが効果が不明確または乏しい
審査会意見	<p>国の補助があり、市が上乗せして二重に補助する必要があるのか。また、これだけの補助を行う効果が本当にあるのか不明確であり、時期尚早ではないのか。</p> <p>市として、電気自動車の普及促進をしていくのであれば、まずは市役所が積極的に電気自動車の導入を行うべきではないのか。あわせて、充電器が市役所にあるのであれば、市民が利用できるようにすべきである。</p>

補助金名称	90 道路愛護会補助金 91 河川愛護会補助金
担当課	道路課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>長年続いてきた活動であり、補助金は継続すべきであるが、補助金額の根拠を明確にする必要がある。</p> <p>また、道路愛護や河川愛護の活動について積極的にPRを行っていただきたい。</p> <p>あわせて、河川愛護会については、県の協力も得ながら、河川愛護の啓蒙を凶っていただきたい。</p>

補助金名称	92 狭あい道路整備事業補助金
担当課	建築指導課
見直しの方向性	継続すべき
審査会意見	<p>良好な生活環境を確保するため、補助金は継続すべきであるが、目標等を設定し適切に予算要求していただきたい。</p> <p>また、市が行うべき指導監督をきちんと行っていただきたい。</p>

補助金名称	93 黒磯地区病害虫防除対策事業費補助金 94 塩那地区農作物病害虫防除対策事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	<p>改善すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある ・両地区の協議会の統合によって補助金を一本化すべきである ・補助金額の根拠について明確にすべきである
審査会意見	<p>協議会ごとに防除方法に違いがある。また、補助金額の根拠が明確になっていないため補助金額に差がある。両地区の協議会の統合を行い、機械の効率的な活用も検討し、補助金を一本化すべきである。</p> <p>併せて、面積単価や補助率など、補助金額の根拠を明確にすべきである。</p>

補助金名称	95 野菜畑土壌消毒事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	<p>減額すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率、補助単価等下げるべきである
審査会意見	<p>黒磯地区、塩那地区と比較すると、一戸当たりの補助金額が高額となっており、公平性に問題がある。補助金額を下げるべきである。</p>

補助金名称	96 那須塩原市農業公社チャレンジファーマー制度推進事業 交付金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	改善すべき <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある ・補助金がらみの公社の事業について再度精査すべきである
審査会意見	<p>公社が実施すべき事業の一つであり、人件費に補助を行うのはおかしい。公社を囲む補助金や類似の事業をきちんと精査し、統合できるものは統合する必要がある。</p> <p>また、現在のチャレンジファーマーは次につながるようなシステムになっていない。担い手確保のための新規就農事業を実施するのであれば、新規就農教育研修事業費補助金を廃止し、農業公社の事業として事業を実施すべきである。</p>

補助金名称	97 乳用牛群改良促進補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	継続すべき

補助金名称	98 和牛優良雌牛導入支援事業費補助金 99 乳用牛優良雌牛導入支援事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	改善すべき <ul style="list-style-type: none"> ・回数制限や頭数制限をなど補助金申請の基準を設け、一部に偏らないよう公平性を保つ制度にすべきである ・終期を定めるべきである
審査会意見	<p>補助対象事業者の偏在がみられる。回数制限や頭数制限をなど補助金申請の基準を設け、一部に偏らないよう公平性を保つ制度にすべきである。また、この補助金については、個人の資産を増やす補助であり、公平性の観点から問題があると考え</p>

補助金名称	100 那須和牛宣伝事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	<p>廃止すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が低い ・長期にわたる補助で効果が不明確または乏しい ・廃止による事業費を生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金に充当すべきである
審査会意見	<p>長期にわたる補助であり、効果が不明確である。また、社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が低いのではないか。</p> <p>既存事業には硬直が見られるため、新しい事業への転換が必要であり、補助金の廃止による事業費を生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金に充当すべきである。</p>

補助金名称	101 畜産振興事業費補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	<p>廃止すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が低い ・長期にわたる補助で効果が不明確または乏しい ・廃止による事業費を生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金に充当すべきである
審査会意見	<p>長期にわたる補助であり、効果が不明確である。また、社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が低いのではないか。</p> <p>既存事業には硬直が見られるため、新しい事業への転換が必要であり、補助金の廃止による事業費を生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金に充当すべきである。</p>

補助金名称	102 生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金
担当課	農務畜産課
見直しの方向性	<p>改善すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して補助の必要性はあるが、改善すべき事項がある ・廃止すべきとした既存事業の補助金を、生乳生産本州一推進チャレンジ事業補助金に充当すべきである
審査会意見	<p>既存事業には硬直が見られるため、新しい事業への転換が必要である。廃止とした既存事業の事業費を充当し事業を実施していただきたい。</p> <p>また、ミルクタウン戦略にあわせ補助事業の効果検証を行い、今後の検討を行っていただきたい。</p>